



## 2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社イグニス 上場取引所 東  
 コード番号 3689 URL <https://1923.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 錢 鋌  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 松本 智仁 TEL 03-6408-6820  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,834	△5.3	△808	—	△931	—	△1,076	—
2020年9月期第2四半期	2,992	10.2	142	—	45	—	△175	—

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 △1,073百万円 (—%) 2020年9月期第2四半期 △174百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	△68.89	—
2020年9月期第2四半期	△11.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	3,729	1,642	44.0
2020年9月期	4,909	2,681	54.4

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 1,640百万円 2020年9月期 2,673百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,010	23.3	△676	—	△836	—	△1,328	—	△84.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	15,676,400株	2020年9月期	15,641,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	43,523株	2020年9月期	43,321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	15,622,984株	2020年9月期2Q	14,629,590株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4、「当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで2021年5月14日に開示予定となります。また、音声による補足説明についても速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済及び我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界的な経済活動の制限を経て、感染防止策と社会経済活動の再開との両立を課題とする一方で、国内外における感染再拡大など事態の収束の見通しが立っておらず、経済への影響や社会不安が重なり、先行きが不透明な状況が続いています。

当社グループ（当社及び関係会社）は「世界にインパクトを与えなければ、気がすまない」という経営理念及び「次のあたりまえを創る。何度でも」というミッションのもと、インターネット、スマートフォン等を通じた様々なビジネス領域において、多くのユーザーに支持されるサービスの企画・制作・運営を行っています。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、「ゲーム事業」について量的な重要性が低下したため、「その他」の区分に含めており、「マッチング事業」「エンターテック事業」の2区分を報告セグメントとしております。

当第2四半期連結累計期間においては、恋愛・婚活マッチングサービス『with』を展開しているマッチング事業が、広告効率が一時的に悪化したものの引き続き売上高・営業利益に大きく貢献いたしました。エンターテック事業においては、バーチャルライブアプリ『INSPIX LIVE』の大型アップデート版であるディープコミュニケーションSNS『INSPIX WORLD』の「アーリーアクセス・宵」を2021年4月にオープンいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,834,012千円（前年同四半期比5.3%減）、営業損失は808,332千円（前年同四半期は142,585千円の営業利益）、経常損失は931,267千円（前年同四半期は45,521千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,076,282千円（前年同四半期は175,241千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメントの名称	売上高（千円）			セグメント利益又は損失（千円）		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
マッチング事業	1,920,059	2,621,070	701,010	617,982	656,653	38,671
エンターテック事業	148,136	193,375	45,238	△706,210	△1,446,193	△739,983
その他	924,537	19,566	△904,970	230,813	△18,792	△249,606
合計	2,992,733	2,834,012	△158,721	142,585	△808,332	△950,917

## 1. マッチング事業

マッチング事業では、恋愛・婚活マッチングサービス『with』を提供しています。当サービスは、2015年9月にサービスを開始した、SMS（ショートメッセージサービス）又はFacebook認証等で簡単に会員登録が可能な恋愛・婚活マッチングサービスです。メンタリストDaiGo氏監修のもと、統計学×心理学により「運命よりも、確実。」をコンセプトとして、相性の良いお相手を探せるサービスを目指しています。現在、WEBサイト、iOSアプリ、Androidアプリの3つのプラットフォームで提供しています。

当第2四半期連結累計期間におけるマッチング事業は、『with』において、心理学やAIを活用して最適な男女のマッチングを目指し、季節イベントや各種診断イベントを実施し、ユーザー満足度をより一層高めるための施策を講じてまいりました。当該サービスについては、売上高・営業利益への貢献度が高いサービスへと成長しており、引き続きユーザービリティの向上や精度の高いマッチングを実現する機能、診断イベントを継続的に実施していくことで、ユーザー満足度の高い唯一無二の恋愛・婚活マッチングサービスを目指してまいります。また、国内でオンラインマッチングサービスが急速に浸透してきていることから、プロモーションによる新規流入だけでなく、クチコミによる新規流入も増加傾向にあり、2021年3月末時点におけるユーザー数は450万人を突破するなど、サービスは順調に成長しています。更なるサービスの浸透とユーザー数の増加を目指し、当該サービスにかかる広告投資を強化しています。

前連結会計年度においては、広告投資の効果がユーザー数の増加、売上高・営業利益の伸長につながったことから、当第2四半期連結累計期間においても引き続き積極的な広告投資を行ってきたものの、広告効果が一時的に悪化いたしました。今後のサービスのより一層の拡大を図るため、新規ユーザー獲得の手法やアクティブユーザー数の向上・売上拡大手法を見直すなど、各種施策を講じてまいります。

この結果、当セグメントの売上高は2,621,070千円（前年同四半期比36.5%増）、セグメント利益は656,653千円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

## 2. エンターテック事業

エンターテック事業は、「音楽体験の、次のあたりまえを創る」ことを目的に、主に、パルス株式会社によるディープコミュニケーションSNS『INSPIX WORLD』を開発・提供するとともに、芸能プロダクションの運営を行う株式会社VOYZ ENTERTAINMENTによる『VOYZ BOY』等、IP（注1）の展開に取り組んでいます。

パルス株式会社では、VR技術による音楽ライブを生配信するシステムの企画・開発・運営をしています。当該システムは様々な環境に合わせて配信できる仕組みを構築することで、既存の動画配信サイトへの生配信だけでなく、VR・AR動画の生配信も可能としています。バーチャルライブアプリ『INSPIX LIVE』は、このシステムを活用し、スマートフォンとスマートフォン向けVRゴーグルを組み合わせることで、VRによる新たな音楽ライブを体験できるものです。当第2四半期連結累計期間においては、より理想的な顧客体験を実現するために、この『INSPIX LIVE』の大型アップデート版であるディープコミュニケーションSNS『INSPIX WORLD』の開発を進めてまいりました。2021年4月には、VRライブだけではない様々なアトラクションが楽しめる『INSPIX WORLD』の「アーリーアクセス・宵」をオープンしております。今後は、複数の他社IPが『INSPIX WORLD』上でVR音楽ライブの実施を予定しており、積極的な他社IPの誘致と様々な企画を実現してまいります。また、現在の機能を継続してアップデートしていくことに加えて、ユーザーの皆様からのニーズにお応えできるように新機能を追加していき、より良いサービスにすることを目指してまいります。

IPの展開にあたっては、業務提携先である株式会社岩本町芸能社所属のVRアイドル『えのぐ』が、当社のVR音楽ライブプラットフォームの技術を活用し、精力的に様々な活動をしています。当社連結子会社で芸能プロダクションの運営を行う株式会社VOYZ ENTERTAINMENTでは、所属タレントである三次元のボーイズグループ『VOYZ BOY』と、「二次元と三次元を行き来する」5人組ボーイズグループ『学芸大青春（ガクゲイダイジュネス）』が活動しており、オンライン配信でのライブ活動や各種CD、様々なタレントグッズの発売など精力的に活動をしています。

この結果、当セグメントの売上高は193,375千円（前年同四半期比30.5%増）、セグメント損失は1,446,193千円（前年同四半期は706,210千円のセグメント損失）となりました。

## 3. その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントとして、HR Tech及び医療機関向けSaaS等の事業セグメントにより構成されています。

HR Techでは、グラム株式会社において、性格傾向データを活用した適性検査クラウド『Jobgram』を展開しています。

医療機関向けSaaSでは、オンライン診療を目的とした医療機関向けのソフトウェアの企画・開発・運営を行っており、『FOREST』というソフトウェアをオンライン診療と相性が良い医療機関に対して提供しています（注2）。

当第2四半期連結累計期間において、主にグラム株式会社のサービスを展開する一方で、医療機関向けSaaSに関しては、引き続き、サービス改善に努めてまいりました。

この結果、その他の売上高は19,566千円（前年同四半期比97.9%減）、セグメント損失は18,792千円（前年同四半期は230,813千円のセグメント利益）となりました。

（注）1. IPとは、Intellectual Propertyの略で、著作権や商標権等の知的財産のことです。

2. 株式会社イグニスメディカルケアソリューションズは、2020年10月1日付で株式会社イグニスに吸収合併され消滅しており、『FOREST』は株式会社イグニスに承継されています。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,729,318千円となり、前連結会計年度末に比べ1,180,150千円減少いたしました。流動資産は2,073,557千円(前連結会計年度末比1,128,678千円減)となりました。主な減少要因は、法人税の支払等により現金及び預金が862,215千円及び未収入金が164,024千円減少したことによるものであります。また、固定資産は1,655,760千円(前連結会計年度末比51,472千円減)となりました。主な減少要因は、持分法による投資損失の計上等により投資有価証券が85,615千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は2,087,084千円となり、前連結会計年度末に比べ140,888千円減少いたしました。流動負債は1,854,295千円(前連結会計年度末比243,138千円増)となりました。主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金が282,696千円及び未払金が182,956千円増加したこと、主な減少要因は、未払法人税等が95,932千円減少したことによるものであります。また、固定負債は232,789千円(前連結会計年度末比384,026千円減)となりました。当該減少要因は、1年内返済予定の長期借入金への振替により、長期借入金が384,026千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,642,233千円となり、前連結会計年度末に比べ1,039,262千円減少いたしました。主な増加要因は、2020年12月18日開催定時株主総会決議に基づく欠損填補を目的とする無償減資に伴い利益剰余金が3,627,398千円増加したこと、主な減少要因は、当該無償減資に伴い資本金が693,670千円及び資本剰余金が2,933,727千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等に伴い利益剰余金1,076,282千円が減少したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は357,436千円となり、前連結会計年度末に比べ832,215千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は912,445千円（前年同四半期は82,941千円の増加）となりました。主な増加要因は、未払金の増加額138,763千円、減価償却費75,790千円によるもの、主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失895,525千円、法人税等の支払額284,010千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は140,356千円（前年同四半期は265,282千円の減少）となりました。主な増加要因は、定期預金の払戻しによる収入215,000千円、主な減少要因は、定期預金の預入による支出185,000千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は61,187千円（前年同四半期は377,874千円の増加）となりました。主な増加要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入40,716千円によるもの、主な減少要因は長期借入金の返済による支出117,128千円であります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2021年3月5日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の内容に変更はございません。なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,404,652	542,436
売掛金	702,021	631,888
営業貸付金	1,194,206	1,178,554
仕掛品	6,852	47,973
貯蔵品	5,194	5,194
その他	734,135	510,796
貸倒引当金	△844,826	△843,286
流動資産合計	3,202,236	2,073,557
固定資産		
有形固定資産	189,012	171,251
無形固定資産		
ソフトウェア	409,221	432,647
無形固定資産合計	409,221	432,647
投資その他の資産		
投資有価証券	301,734	216,118
長期未収入金	920,612	932,209
その他	611,292	627,173
貸倒引当金	△724,640	△723,640
投資その他の資産合計	1,108,998	1,051,861
固定資産合計	1,707,232	1,655,760
資産合計	4,909,469	3,729,318
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	56,399	50,768
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	150,975	433,671
未払金	433,819	616,776
未払法人税等	302,410	206,478
前受収益	429,699	393,586
その他	137,852	53,014
流動負債合計	1,611,156	1,854,295
固定負債		
長期借入金	486,956	102,929
資産除去債務	129,860	129,860
固定負債合計	616,816	232,789
負債合計	2,227,972	2,087,084
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,935,536	2,262,346
資本剰余金	2,841,540	△71,674
利益剰余金	△3,051,430	△500,314
自己株式	△52,281	△52,846
株主資本合計	2,673,364	1,637,511
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△341	2,580
その他の包括利益累計額合計	△341	2,580
新株予約権	7,880	1,575
非支配株主持分	593	566
純資産合計	2,681,496	1,642,233
負債純資産合計	4,909,469	3,729,318

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,992,733	2,834,012
売上原価	452,327	354,818
売上総利益	2,540,405	2,479,193
販売費及び一般管理費	2,397,820	3,287,526
営業利益又は営業損失(△)	142,585	△808,332
営業外収益		
受取利息	141	18
保険返戻金	4,568	—
助成金収入	—	6,519
雑収入	1,022	8,701
営業外収益合計	5,731	15,239
営業外費用		
支払利息	3,040	3,047
持分法による投資損失	65,459	89,335
保険解約損	7,662	41,974
雑損失	26,634	3,818
営業外費用合計	102,796	138,175
経常利益又は経常損失(△)	45,521	△931,267
特別利益		
固定資産売却益	—	15,270
投資有価証券売却益	11,211	14,400
関係会社株式売却益	34,788	—
新株予約権戻入益	—	6,058
持分変動利益	192,586	—
その他	—	1,818
特別利益合計	238,586	37,546
特別損失		
投資有価証券評価損	150,552	—
減損損失	19,975	1,449
固定資産除却損	—	355
特別損失合計	170,528	1,804
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	113,579	△895,525
法人税、住民税及び事業税	253,722	187,083
法人税等調整額	35,242	△6,300
法人税等合計	288,964	180,782
四半期純損失(△)	△175,384	△1,076,308
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△143	△26
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△175,241	△1,076,282



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△175,384	△1,076,308
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	523	2,921
その他有価証券評価差額金	27	—
その他の包括利益合計	551	2,921
四半期包括利益	△174,833	△1,073,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△174,689	△1,073,360
非支配株主に係る四半期包括利益	△143	△26

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	113,579	△895,525
減価償却費	161,874	75,790
減損損失	19,975	1,449
投資有価証券評価損益(△は益)	150,552	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△15,270
投資有価証券売却損益(△は益)	△11,211	△14,400
関係会社株式売却損益(△は益)	△34,788	—
持分変動損益(△は益)	△192,586	—
新株予約権戻入益	—	△6,058
受取利息	△141	△18
支払利息	3,040	3,047
持分法による投資損益(△は益)	65,459	89,335
保険解約損益(△は益)	7,662	41,974
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,015	△2,540
売上債権の増減額(△は増加)	39,094	70,136
営業貸付金の増減額(△は増加)	18,381	15,652
たな卸資産の増減額(△は増加)	△51,362	△47,714
仕入債務の増減額(△は減少)	7,577	△5,637
未払金の増減額(△は減少)	57,716	138,763
その他	66,046	△87,577
小計	423,887	△638,594
利息の受取額	2,116	2,415
利息の支払額	△3,008	△1,020
法人税等の支払額	△340,373	△284,010
法人税等の還付額	320	8,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,941	△912,445
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	215,000
定期預金の預入による支出	△100,000	△185,000
有形固定資産の取得による支出	△21,542	△2,281
無形固定資産の取得による支出	△257,380	△80,812
投資有価証券の売却による収入	18,711	14,400
投資有価証券の取得による支出	—	△3,719
関係会社株式の売却による収入	84,000	162,031
その他	10,930	20,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,282	140,356
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	535,517	15,798
長期借入金の返済による支出	△167,964	△117,128
自己株式の取得による支出	△26	△572
新株予約権の行使による株式の発行による収入	10,348	40,716
財務活動によるキャッシュ・フロー	377,874	△61,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	1,060
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	195,636	△832,215
現金及び現金同等物の期首残高	209,779	1,189,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	405,415	357,436

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月18日開催の定時株主総会において、欠損填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2021年1月29日に効力が発生しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金が693,670千円、資本剰余金が2,933,727千円減少し、利益剰余金が3,627,398千円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マッチング 事業	エンター テック事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,920,059	148,136	2,068,196	924,537	2,992,733	—	2,992,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,920,059	148,136	2,068,196	924,537	2,992,733	—	2,992,733
セグメント利益又は損失 (△)	617,982	△706,210	△88,228	230,813	142,585	—	142,585

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業及び求人サービス、転職エージェントサービス、医療機関向けSaaS、VR医療等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「II 当第2四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エンターテック事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、19,975千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マッチング 事業	エンター テック事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,621,070	193,375	2,814,445	19,566	2,834,012	—	2,834,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,621,070	193,375	2,814,445	19,566	2,834,012	—	2,834,012
セグメント利益又は損失 (△)	656,653	△1,446,193	△789,539	△18,792	△808,332	—	△808,332

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、HR Tech及び医療機関向けSaaS等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「ゲーム事業」について量的な重要性が低下したため、「その他」の区分に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「エンターテック事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、1,449千円であります。

## （重要な後発事象）

（株式会社i3による当社公開買付け）

当社は、2021年3月5日開催の取締役会において、株式会社i3（以下「公開買付者」といいます。）による当社の発行済普通株式（以下「当社株式」といいます。）及び本新株予約権（2014年3月10日開催の臨時株主総会の決議に基づき発行された新株予約権（以下「第4回新株予約権」といいます。）、2016年10月13日開催の取締役会の決議に基づき発行された新株予約権（以下「第12回新株予約権」といいます。）、2017年2月16日開催の取締役会の決議に基づき発行された新株予約権（以下「第13回新株予約権」といいます。）、2018年3月5日開催の取締役会の決議に基づき発行された新株予約権（以下「第15回新株予約権」といいます。）及び2018年3月5日開催の取締役会の決議に基づき発行された新株予約権（以下「第16回新株予約権」といいます。）、第4回新株予約権、第12回新株予約権、第13回新株予約権、第15回新株予約権及び第16回新株予約権を総称して、以下「本新株予約権」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対しては、本公開買付けへの応募を推奨すること、本新株予約権の所有者（以下「本新株予約権者」といいます。）の皆様のうち、第4回新株予約権、第12回新株予約権及び第13回新株予約権に係る本新株予約権者の皆様に対しては、本公開買付けに応募することを推奨し、他方、第15回新株予約権及び第16回新株予約権に係る本新株予約権者の皆様に対しては、本公開買付けに応募するか否かについて、当該本新株予約権者の皆様のご判断に委ねることを決議をいたしました。

なお、当該取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て当社の株式を非公開化することを企図していること並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものであります。

本公開買付けは、2021年3月8日から2021年4月19日まで実施され、公開買付者より、本公開買付けの結果について、当社株式6,922,007株並びに第4回新株予約権2,700個、第12回新株予約権100個及び第13回新株予約権150個の応募があり、本公開買付けが成立したことから、その全てを取得することになった旨の報告を受けました。

この結果、2021年4月26日（本公開買付けの決済の開始日）付で、当社の総株主の議決権に対する公開買付者の所有する議決権の合計の割合が44.28%となるため、公開買付者は、新たに当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に該当することとなりました。

## 1. 公開買付者の概要

(1) 名 称	株式会社 i 3								
(2) 所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号パレスビル5階								
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 銭 鋳								
(4) 事 業 内 容	当社の株券等を取得及び所有し、当社の事業活動を支配及び管理すること								
(5) 資 本 金	100,000円								
(6) 設 立 年 月 日	2021年2月24日								
(7) 大株主及び持株比率	ビーシーピーイー・ウィッシュ・ケイマン・エルピー (BCPE Wish Cayman, L.P.) 50.00% 銭 鋳 25.00% 鈴木 貴明 25.00%								
(8) 当社と公開買付者の関係	<table border="1"> <tr> <td>資 本 関 係</td> <td>公開買付者と当社の間には、記載すべき資本関係はありません。なお、公開買付者の発行済株式の25.00%を所有している代表取締役である銭鋳氏（以下「銭氏」といいます。）は、当社株式2,865,900株（所有割合（注1）：17.46%）を所有しております。</td> </tr> <tr> <td>人 的 関 係</td> <td>当社の代表取締役社長である銭氏は、公開買付者の代表取締役を兼務しております。</td> </tr> <tr> <td>取 引 関 係</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> <tr> <td>関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況</td> <td>該当事項はありません。</td> </tr> </table>	資 本 関 係	公開買付者と当社の間には、記載すべき資本関係はありません。なお、公開買付者の発行済株式の25.00%を所有している代表取締役である銭鋳氏（以下「銭氏」といいます。）は、当社株式2,865,900株（所有割合（注1）：17.46%）を所有しております。	人 的 関 係	当社の代表取締役社長である銭氏は、公開買付者の代表取締役を兼務しております。	取 引 関 係	該当事項はありません。	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。
資 本 関 係	公開買付者と当社の間には、記載すべき資本関係はありません。なお、公開買付者の発行済株式の25.00%を所有している代表取締役である銭鋳氏（以下「銭氏」といいます。）は、当社株式2,865,900株（所有割合（注1）：17.46%）を所有しております。								
人 的 関 係	当社の代表取締役社長である銭氏は、公開買付者の代表取締役を兼務しております。								
取 引 関 係	該当事項はありません。								
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。								

(注) 「所有割合」とは、(i)当社が2021年2月12日に提出した「第12期第1四半期報告書」に記載された2020年12月31日現在の当社の発行済株式数(15,676,400株)に、(ii)当社が2020年12月21日付で提出した第11期有価証券報告書に記載された2020年11月30日現在の全ての新株予約権(18,021個(目的となる株式数:1,598,700株))から、2020年12月1日以降2021年3月4日までに行使され又は消滅した新株予約権(7,821個(目的となる株式数:813,100株)(第6回新株予約権189個(目的となる株式数:37,800株)、第7回新株予約権121個(目的となる株式数:24,200株)及び第17回新株予約権7,511個(目的となる株式数:751,100株)))を除いた数の2021年3月4日現在の本新株予約権(10,200個(第4回新株予約権2,800個(目的となる株式数:5,600株)、第12回新株予約権250個(目的となる株式数:50,000株)、第13回新株予約権150個(目的となる株式数:30,000株)、第15回新株予約権3,500個(目的となる株式数:350,000株)、及び第16回新株予約権3,500個(目的となる株式数:350,000株)))の目的となる株式数(785,600株)を加算した数(16,462,000株)から、(iii)当社が2021年2月12日に公表した「2021年9月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載された2020年12月31日現在の当社が所有する自己株式数(43,351株)を控除した株式数(16,418,649株)に対する割合(小数点以下第三位を四捨五入しております。)をいいます。

## 2. 本公開買付けの概要

## (1) 買付け等の期間

2021年3月8日から2021年4月19日まで(31営業日)

## (2) 買付け等の価格

- ① 普通株式1株につき、金3,000円(以下「本公開買付価格」といいます。)
- ② 新株予約権
  - i 第4回新株予約権1個につき、4,450円
  - ii 第12回新株予約権1個につき、353,400円
  - iii 第13回新株予約権1個につき、135,000円
  - iv 第15回新株予約権1個につき、1円
  - v 第16回新株予約権1個につき、1円

## (3) 買付け等の決済をする金融商品取引業者・銀行等の名称及び本店の所在地

野村證券株式会社 東京都中央区日本橋一丁目9番1号

## (4) 決済の開始日

2021年4月26日

（株式併合、単元株式数の定めの変更及び定款の一部変更）

当社は、2021年5月12日開催の取締役会において、以下のとおり、株式併合、単元株式数の定めの変更及び定款の一部変更について、2021年6月10日開催予定の当社の臨時株主総会（以下「本臨時株主総会」といいます。）に付議することを決定いたしました。

なお、当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）は、上記手続の過程において、株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程に定める上場廃止基準に該当することとなります。これにより、当社株式は、2021年6月30日をもって上場廃止となる予定です。

## 1. 株式併合について

### (1) 株式併合の目的及び理由

添付資料P10.「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象）（株式会社i3による当社公開買付け）」に記載のとおり、本公開買付けが成立いたしました。公開買付者は、本公開買付けにより当社株式（ただし、本新株予約権の行使により交付される当社株式を含み、当社が所有する自己株式及び不応募合意株式の全てを除きます。）及び本新株予約権（ただし、不応募合意株主が所有する本新株予約権を除きます。）の全てを取得することができなかつたことから、当社は、公開買付者の要請を受け、当社の株主を銭氏、鈴木氏及び公開買付者のみとするため、2021年5月12日開催の取締役会において本臨時株主総会の開催を決議し、本臨時株主総会において株主の皆様のご承認をいただくことを条件として、当社株式を非公開化するために、下記「1. 株式併合について (3) 株式併合の内容」に記載のとおり、当社株式1,302,729株を1株に併合する株式の併合（以下「本株式併合」といいます。）を実施する予定です。

### (2) 株式併合の日程

臨時株主総会基準日公告日	2021年4月9日（金）
臨時株主総会基準日	2021年4月27日（火）
取締役会決議日	2021年5月12日（水）
臨時株主総会開催日	2021年6月10日（木）（予定）
整理銘柄指定日	2021年6月10日（木）（予定）
当社株式の売買最終日	2021年6月29日（火）（予定）
当社株式の上場廃止日	2021年6月30日（水）（予定）
本株式併合の効力発生日	2021年7月2日（金）（予定）

### (3) 株式併合の内容

#### ① 併合する株式の種類

普通株式

#### ② 併合比率

当社株式について、1,302,729株を1株に併合いたします。

#### ③ 減少する発行済株式総数

15,632,744株

#### ④ 効力発生前における発行済株式総数

15,632,756株（注）

（注）効力発生前における発行済株式総数は、当社が2021年2月12日に提出した「第12期第1四半期報告書」に記載された2020年12月31日現在の当社の発行済株式数（15,676,400株）から、当社が、本日開催の取締役会において決議した、2021年7月1日時点で消却する予定の2021年4月27日現在当社が保有する自己株式数（43,644株）を除いた株式数です。

#### ⑤ 効力発生後における発行済株式総数

12株

#### ⑥ 効力発生日における発行可能株式総数

48株

## 2. 単元株式数の定め廃止について

## (1) 廃止の理由

本株式併合の効力が発生した場合には、当社の発行済株式総数は12株となり、単元株式数を定める必要がなくなることによるものです。

## (2) 廃止予定日

2021年7月2日（金）（予定）

## (3) 廃止の条件

本臨時株主総会において、本株式併合に係る議案及び単元株式数の定め廃止に係る定款の一部変更に係る議案が原案どおり承認可決され、本株式併合の効力が発生することを条件といたします。

## 3. 定款の一部変更について

## (1) 定款変更の目的

- ① 本株式併合に係る議案が原案どおり承認可決され、本株式併合の効力が発生した場合には、会社法第182条第2項の定めに従って、当社株式の発行可能株式総数は48株に減少することとなります。かかる点を明確にするために、本株式併合の効力が発生することを条件として、定款第5条（発行可能株式総数）を変更するものであります。
- ② 本株式併合に係る議案が原案どおり承認可決され、本株式併合の効力が発生した場合には、当社の発行済株式総数は12株となり、単元株式数を定める必要がなくなります。そこで、本株式併合の効力が発生することを条件として、現在1単元100株となっている当社株式の単元株式数の定めを廃止するため、定款第7条（単元株式数）及び第8条（単元未満株主の権利制限）の全文を削除し、これら変更に伴う条数の繰り上げを行うものであります。

## (2) 定款変更の内容

変更の内容は、以下のとおりであります。なお、当該定款変更は、本臨時株主総会において本株式併合に係る議案が原案どおり承認可決され、本株式併合の効力が発生することを条件として、本株式併合の効力発生予定日である2021年7月2日に効力が発生するものといたします。

（下線部は変更部分を示します。）

現行定款	変更案
<p>（発行可能株式総数）</p> <p>第5条 当社の発行可能株式総数は、<u>6,000,000,000株</u>とする。</p> <p>（略）</p> <p><u>（単元株式数）</u></p> <p>第7条 当社の1単元の株式数は、100株とする。</p> <p><u>（単元未満株主の権利制限）</u></p> <p>第8条 当社の単元未満株主は、以下に掲げる権利以外の権利を行使することができない。</p> <p><u>（1）会社法第189条第2項各号に掲げる権利</u></p> <p><u>（2）取得請求権付株式の取得を請求する権利</u></p> <p><u>（3）募集株式又は募集新株予約権の割当てを受け</u> <u>る権利</u></p> <p>第9条～第42条（条文省略）</p>	<p>（発行可能株式総数）</p> <p>第5条 当社の発行可能株式総数は、<u>48株</u>とする。</p> <p>（略）</p> <p>（削除）</p> <p>（削除）</p> <p>第7条～第40条（現行どおり）</p>

## (3) 定款変更の日程

2021年7月2日（金）（予定）